東北駆け込み寺 いろは横丁だより
2024.03.01
42号

相談員さんがFMラジオ「キミトナラジオ」から取材

2月16日相談員の竹田さん、kyokoさんが仙台市太白区のコミュニティFM「エフエムたいはく」の番組「キミトナラジオ」から取材を受けました。





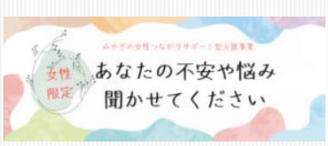
竹田さん
相談員を続けているうちに、もっと人のお役に立ちたいと思い社会福祉士を目指しました。そのために社会人大学受験にチャレンジ、先輩相談員から色々アドバイスを頂いたおかげさまで合格。4月から大学生になります。

kyokoさん
以前は市民活動やソーシャルビジネスに取り組んできました。現在は東北駆け込み寺の相談員として登録していますが、一市民としてボランティアをできることが今の自分にピッタリでやりがいを感じています。



「キミトナラジオ」とは
特定非営利活動法人キミノトナリが仙台市太白区のコミュニティFM「エフエムたいはく」にて、毎週水曜日22:00～22:30に放送しています。
仙台市太白区にお住いの方は、FMラジオで周波数を78.9MHzに合わせてお聴き下さい。
過去に放送したキミトナラジオのダイジェスト版をYou TubeにUPしています。
https://kimitona.net/

特定非営利活動法人キミノトナリ
・にんしんSOS仙台：思いがけない妊娠をした女性の支援
・トナカフェ仙台：金曜日の夜に仙台市中心部で開店





相談事例 №2 『男性 20代』

この日の相談員は私一人だった。電話で第一声が「死にたいです、今からそちらに行きます。死に方を教えて下さい」だった。その後、相談者が来所したがずっと「死にたい」という言葉を繰り返していた。何か質問を投げかけても、うなだれて反応が無く会話もままならかった。そのため、私は何をすれば良いか分からなくなった。その時、夜の当番が定刻より早く来てくれた。私はその相談員に事情を説明して対応をお願いした。相談員が親しげに声を掛けると次第に笑顔が表れるようになり、ネガティブな言葉を発することはなくなっていった。最後は落ち着いた様子で帰って行き無事に相談が終わった。

この相談は私がこれまで対応した中でも一番気力を振り絞った相談だった。なので、得るものも大きかった。しばらくして、ある相談員から日本駆け込み寺代表“玄さん”のある言葉を教えてもらった。それは、「相談者の話を聴きたくなくなったら電話を取らなくても良い。駆け込み寺のドアの鍵を閉めても良い。」だった。今回の相談を経験した私にとって心に響く言葉だった。その日から、私は玄さんの言葉と今回の相談を教訓にして「困ったときは誰かを頼る」を心に留めながら活動をしている。頼ることが増えてから相談員との交流が深まり、時には私の人生の悩みを親身に聴いて下さる方々もいた。この相談を通して気づき得たことは、誰かを頼ることの大切さと助けて下さる相談員のありがたさ、そして、あの時駆け込み寺に来て私を助けて下さった相談員への感謝だ。

（相談者が特定されないように一部実際と異なる表現をしています）

2024年2月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	1件
・家族の問題	1件
・ストーカー	0件
・自殺の問題	0件
・心の問題	7件
・職場の問題	6件
・生活の問題	0件
・病気の問題	2件
・住宅の問題	0件
・引きこもり	0件
・SNSの問題	1件
・恋愛の問題	13件
・お金の問題	1件
・その他問題	4件
合計	36件

【年代別】

・10代	0件
・20代	1件
・30代	10件
・40代	14件
・50代	4件
・60代	2件
・70以上	2件
・不明	3件
合計	36件

【男女別】

・男性	21件
・女性	14件
・不明	1件
合計	36件

【ボランティア延べ人数　120人】

一般社団法人東北駆け込み寺
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3-28
022－200－6002